

第18号議案

文化財の指定について

別紙の文化財を仙台市指定有形文化財に指定することにつき、教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第11号の規定により、議決を求める。

令和7年8月19日

仙台市教育委員会
教育長 天野 元

第 18 号議案 別紙

仙台市文化財保護審議会より,仙台市指定文化財に指定すべきとの答申を受けた文化財

種 別	名 称	員 数	所在地及び 所有者（所有者住所）
有形文化財 （古文書）	朴沢文書	古文書 12 通 （附）古文書写 4 通 系図写 5 点	仙台市青葉区片平二丁目 1-1 国立大学法人東北大学

令和 7 年 8 月 7 日

仙 台 市 教 育 委 員 会

教育長 天野 元 様

仙台市文化財保護審議会

会長 七海 雅人

有形文化財の指定について（答申）

令和 7 年 3 月 21 日付 R6 教生文第 11753 号にて諮問があったことについて、当審議会において審議を行った結果、下記の物件は重要であり、仙台市指定有形文化財に指定し、保存・活用を図るべきとの結論を得ましたので、別紙のとおり指定理由書を付して答申します。

記

1 有形文化財（古文書）

朴沢文書

12 通 （附）古文書写 4 通 系図写 5 点

国立大学法人東北大学所蔵

○添付資料

指定理由書

仙台市指定有形文化財指定理由書

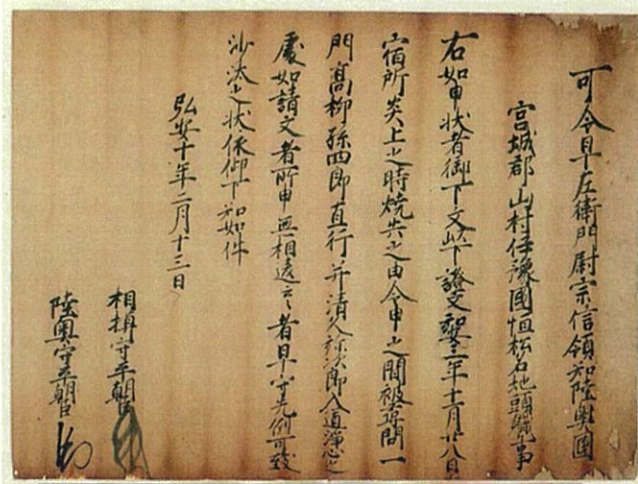
種別	有形文化財(古文書)
名称	朴沢文書
ふりがな	ほおざわもんじょ
員数	古文書12通(附)古文書写4通、系図写5点
時代	古文書:鎌倉時代・南北朝時代・戦国時代 (附)古文書写:昭和10年(1935)頃、系図写:昭和7年(1932)頃
所在地	仙台市青葉区川内27-1
所有者(占有者)	国立大学法人東北大学(宮城県仙台市青葉区片平二丁目1-1)
性質・形状 大きさ 重量・構造	古文書12通(別紙目録No.1-No.12、以下目録番号のみ記載)は正文で、いずれも楮紙、裏打がほどこされた上で近世の包紙が附属する(但しNo.11を除く)。古文書写4通(No.13-No.16)および系図写5点(No.17)は楮紙、系図は一部欠損。いずれも史料整理封筒に収納されている。各資料の形質・形態・大きさは別紙目録の通り。
現状	東北大学附属図書館において保管。
由来・証拠・伝説 又は作者と伝来	古文書12通は、鎌倉時代、宮城郡山村(現仙台市泉区朴沢・根白石・七北田ほか)に所領を得た大河戸氏の一族である朴沢氏に伝わった古文書群で、昭和12年(1937)、東北帝国大学が朴沢次雄氏から購入した。古文書写4通は、昭和10年頃、東北帝国大学奥羽史料調査部が調査した際に作成されたと考えられる。系図5点も近代の写で、その内1点は書写情報に関する記載より、昭和7年に作成されたことがわかる。 大河戸氏は、藤原秀郷を祖とし、武蔵国大河戸御厨を本領とした。文治5年(1189)奥州合戦の恩賞として大河戸重行の三男高柳行元(行基)が宮城郡山村の地頭職を得たとされる。大河戸・高柳・山村と称したほか、南北朝時代から朴沢の名字が確認できる(No.5)。朴沢氏は戦国時代までに国分氏に従ったとされ、国分氏滅亡後は伊達家に仕え、仙台藩士として複数の家を分出した。近世の朴沢家では伝来の古文書を本家・分家で分割して所有したことが、朴沢文書の包紙に記載された上書の内容より推測される。
説明	鎌倉時代の関東下知状2通(No.1、2)は、山村などに関する大河戸氏の所領安堵および分割相続をめぐる紛争に対して鎌倉幕府が発給したもので、鎌倉御家人による所領支配や、惣領・庶子による分割相続の様相を具体的に示すものである。また、建武政権・南北朝時代の古文書(No.3-No.11)および古文書写(No.14・No.15)からは、大河戸氏が多賀国府に下向した陸奥守北畠顕家に従い本領安堵・新恩給与を得たこと、北畠顕信と吉良貞家による国府争奪戦の中で、大河戸氏一族は双方と関係を持ちながら行動していたことがうかがえる。 いずれも鎌倉時代に現仙台市域の一部を領有した武士の所領支配の在り方や、南北朝時代の政治的動乱における在地領主の動向を示すものである。市内に現存する中世の古文書正文は少なく、仙台市の歴史が記録された貴重な文化財といえる。また、鎌倉幕府の訴訟制度や政治史、北畠顕家の多賀国府政権の研究に不可欠の資料であり、高い学術的価値を有する。なお、附の古文書写は、正文が現存しない史料(No.13・14・16)や、鎌倉時代の稗貫郡に触れた稀有な史料(No.13)を含むこと、また系図写は、正文が別に現存するが、朴沢家の歴史を補完するものであり、朴沢文書の資料群としての意義を認められることから、現存正文と併せて歴史的・学術的価値を有するものといえる。
備考	【主要参考文献】 『仙台市文化財調査報告書第518集 文化財年報45 令和5年度』(仙台市教育委員会、2024年) - 七海雅人「北畠顕家の軌跡」(『東北学院大学論集 歴史と文化』65・66合併、2022年) 『仙台市史 通史編2古代中世』仙台市、2000年 『仙台市史 資料編1古代中世』仙台市、1995年 - 大島延次郎「朴沢文書について」(上)(中)(下)(『文化』第1巻第10号・第2巻第1号・第2巻第2号、1934・1935年) 「朴沢文書目録データベース」東北大学大学院文学研究科日本史研究室(http://www2.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/housawa/h-menu.html)

朴沢文書目録(指定資料)

No.	資料名	和暦	月日	寸法	点数	形質	形態	状態	附属品	仙台市史 対象番号	備考	東北 大学 整理 番号
1	関東下知状	弘安10年 (1287)	2月13日	縦33.2cm×横47.2 cm	1通	楮紙	縦紙	裏打	近世の包紙:縦 45.6cm×横32.6 cm	Ⅲ-3- 1号	北条貞時花押:縦 5.4cm×横3.0cm、 北条業時花押:縦 3.7cm×横2.8cm	1
2	関東下知状	永仁3年 (1295)	3月28日	第1紙-縦31.7cm ×横43.2cm 第2紙 -縦31.7cm×横 48.7cm 第3紙-縦 31.7cm×横40.6cm	1通	楮紙	縦紙	裏打	近世の包紙:縦 44.3cm×横32.0 cm	Ⅲ-3- 2号	北条宣時花押:縦 3.4cm×横3.0cm、 北条貞時花押:縦 4.2cm×横2.8cm	2
3	足利高氏過所	元弘3年 (1333)	5月30日	縦31.4cm×横40.1 cm	1通	楮紙	縦紙	裏打	近世の包紙:縦 45.9cm×横32.4 cm	Ⅲ-3- 4号	足利高氏花押:縦 2.7cm×横4.1cm	3
4	大河戸隆行軍忠状	元弘3年 (1333)	10月 日	縦31.5cm×横42.3 cm	1通	楮紙	縦紙	裏打	近世の包紙:縦 45.9cm×横32.7 cm	Ⅲ-3- 5号	大館幸氏証判花 押:縦4.2cm×横 4.3cm	4
5	大河戸隆行申状	建武元年 (1334)	8月 日	縦32.9cm×横48.5 cm	1通	楮紙	縦紙	裏打	近世の包紙:縦 46.0cm×横32.5 cm	Ⅲ-3- 6号	外題北畠顕家、 北畠顕家花押:縦 6.7cm×横4.4cm	5
6	陸奥国宣	建武元年 (1334)	9月2日	縦32.8cm×横47.1 cm	1通	楮紙	縦紙	裏打	近世の包紙:縦 46.1cm×横32.6 cm	Ⅲ-3- 7号	北畠顕家花押:縦 7.3cm×横5.0cm	6
7	北畠顕家袖判下文	建武2年 (1335)	6月9日	縦32.1cm×横43.4 cm	1通	楮紙	縦紙	裏打	近世の包紙:縦 45.9cm×横31.5 cm	Ⅲ-3- 8号	北畠顕家花押:縦 9.2cm×横5.1cm	7
8	陸奥国宣	建武2年 (1335)	6月25日	縦32.5cm×横44.0 cm	1通	楮紙	縦紙	裏打	近世の包紙:縦 45.7cm×横32.3 cm	Ⅲ-3- 9号	北畠顕家花押:縦 9.8cm×横3.5cm	8
9	高柳宗泰等着到状	建武2年 (1335)	12月23日	縦32.9cm×横44.5 cm	1通	楮紙	縦紙	裏打	近世の包紙:縦 45.8cm×横32.7 cm	Ⅲ-3- 10号	袖北畠顕家証判 花押:縦10.5cm× 横5.5cm	9
10	陸奥国宣	延元元年 (1336)	5月27日	縦33.4cm×横43.4 cm	1通	楮紙	縦紙	裏打	近世の包紙:縦 45.9cm×横32.5 cm	Ⅲ-3- 12号	北畠顕家花押:縦 9.2cm×横5.4cm	10
11	吉良貞家宛行状	観応2年 (1351)	9月22日	縦29.2cm×横33.2 cm	1通	楮紙	縦紙	裏打		Ⅲ-3- 13号	吉良貞家花押:縦 3.5cm×横7.1cm	11
12	某安堵状	長享2年 (1488)	8月18日	縦31.5cm×横28.0 cm	1通	楮紙	縦紙	裏打	近世の包紙:縦 46.2cm×横31.0 cm	Ⅲ-3- 15号		12

朴沢文書目録(附資料)

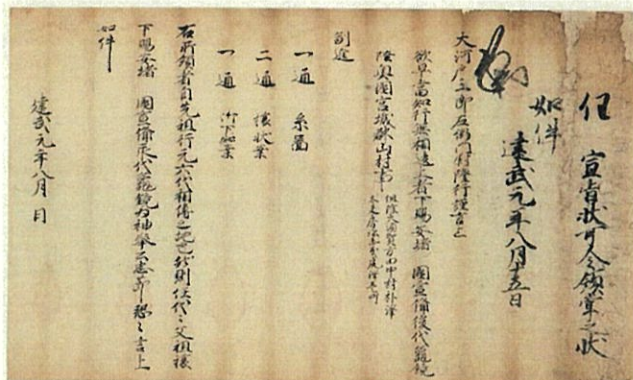
No.	資料名	和暦	月日	寸法	点数	形質	形態	状態	附属品	仙台市史対象番号	備考	東北大学整理番号
1	しやうく譲状写	元亨2年(1322)	6月11日	縦33.1cm×横53.2cm	1通	楮紙	縦紙			Ⅲ-3-3号	花押影:縦1.5cm×横2.1cm	14
2	陸奥国宣写	延元元年(1336)4月8日		第1紙-縦30.8cm×横27.0cm 第2紙-縦30.8cm×横27.1cm	1通	楮紙	縦継紙			Ⅲ-3-11号		15
3	北畠顯信御教書写	正平7年(1352)	閏2月12日	第1紙-縦32.4cm×横26.9cm 第2紙-縦32.4cm×横27.0cm	1通	楮紙	縦継紙			Ⅲ-3-14号	本資料の正文あり(個人蔵)	16
4	某安堵状写	明応5年(1496)	9月16日	縦31.8cm×横27.6cm	1通	楮紙	縦紙			Ⅲ-3-16	欠損あり、花押影:縦3.2×横3.3cm	17
5	朴沢系図写	(昭和7年10月25日謄写)		第1紙-36.1cm×横50.8cm 第2紙-36.2cm×横78.2cm 第3紙-36.3cm×横70.2cm 第4紙-縦36.1cm×横16.0cm(第4紙左端裏補強紙貼付)	1点	楮紙	縦継紙			Ⅲ-4-1号	藤嗣～産行(朴沢理右衛門)	13
6	朴沢系図写			第1紙-縦33.6cm×横27.2cm 第2紙-縦33.6cm×横27.5cm 第3紙-縦33.6cm×横27.4cm 第4紙-縦33.6cm×横27.3cm 第5紙-27.4cm×33.6cm	1点	楮紙	縦継紙			Ⅲ-5-1	秀郷～朴沢行重(数之助)	13
7	朴沢系図写			縦42.5cm×横30.7cm	1点	楮紙	縦紙			Ⅲ-5-2	嫡子庶子書上	13
8	朴沢系図写			縦26.0cm×横34.0cm	1点	楮紙	縦紙			Ⅲ-5-3	朴沢家永～朴沢利兵衛、糊剥がれあり	13
9	朴沢系図写			縦24.3cm×横36.1cm	1点	楮紙	縦紙			Ⅲ-5-4	朴沢家永～朴沢常行	13



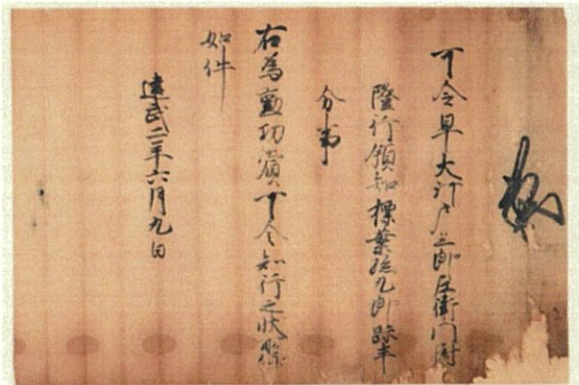
No.1 関東下知状 弘安10年(1287)2月13日



No.2 関東下知状 永仁3年(1295)3月28日



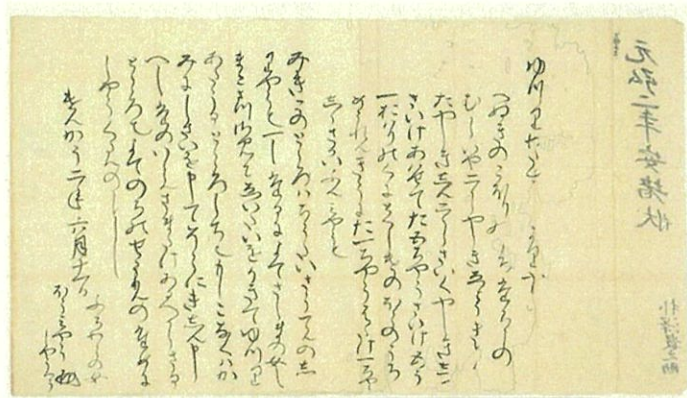
No.5 大河戸隆行申状 建武元年(1334)8月日



No.7 北畠顯家袖判下文 建武2年(1335)6月9日



No.11 吉良貞家宛行状 観応2年(1351)9月22日



No.13 しやうくう讓状写 元享2年(1322)6月11日